

令和 7 年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	伊豆半島沿岸の生態と多様性		
実習内容 伊豆半島は東岸に相模灘、西岸には駿河湾があり、そのいずれも海岸付近の浅海から急激に水深が深くなり、沿岸域で 200 メートルを超える深海に達する。このように近い距離にある 2 つの海域であるが、伊豆半島を挟んでいること、黒潮から受ける影響に差があることなどから、同じ水深域でも異なる生物が生息していることが明らかになっている。 下田臨海実験センターは伊豆半島の先端近くにあり、センターの研究調査船「つくば II」により、伊豆半島の東岸と西岸、いずれも調査することが可能である。この実習では、下田臨海実験センターとつくば II を利用し、相模灘と駿河湾、および浅海と深海という異なった海域の生態系・生物多様性の共通点・相違点を理解すること、そして海産動物の採集法と観察法を習得することを目指す。			
実習内容キーワード	生物多様性、系統進化、生態系、ドレッジ、磯採集		
担当教員氏名・所属・役職名	中野裕昭・筑波大学 生命環境系 下田臨海実験センター・准教授 香川理 筑波大学 生命環境系 下田臨海実験センター・助教		
協力教員氏名・所属・役職名			
対象学生・学年	学部 2～4 年	開講期間	2025/8/4（月）～ 8/8（金）
開講大学・施設名	筑波大学 下田臨海実験センター		
施設の住所	〒415-0025 静岡県下田市 5-10-1 筑波大学下田臨海実験センター		
電話	0558-22-1317	F a x	0558-22-0346
e-mail	h.nakano@shimoda.tsukuba.ac.jp	Web Site	https://www.shimoda.tsukuba.ac.jp/
交通案内	伊豆急行線『伊豆急下田』駅下車、徒歩約 30 分、タクシーでは約 5 分。バスでは、駅前のバスターミナルより石廊崎、下賀茂、仲木方面行きに乗り約 5 分、『鍋田口』で下車して徒歩約 5 分。		
費用	8,400 円（宿泊費と食費、若干の変動の可能性有、交通費は各自負担）		
授業科目名	生物学公開臨海実習		
単位数	1	定員数	14
授業料の徴収について	なし。ただし、各大学から筑波大学生命環境学群長宛てに指定の特別聴講学生願書を提出すること。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	定員を超える場合には、受講生選抜基準は先着順。ただし、なるべく多くの大学から受け入れるよう抽選などにて調整する可能性がある。 申し込み締め切り：2025/6/16（月）		
選抜結果連絡法	e-mail と郵送によって履修に必要な書類とともに本人に連絡する。		